

いる。しかし、必ずしも早い時期に合併しようという考えは持っていない。まずは、市民と行政がともに手を取り合って協力しながら、市民一人ひとりが誇りを持つる山武市を造り上げたいと思う。今後、横芝光町との正式な協議は計画していないが、お互いに意見交換を進め、何らかの組織づくりをしたい。

●空港との共生・共栄について

Q 成田国際空港は、来年開港30年の節目を迎えます。現在、新聞紙上で成田空港と羽田空港の関係が取りざたされている中で、成田空港の運用と将来の発展は、周辺自治体にとって大変重要な問題であると理解している。これを踏まえ、周辺住民の理解と協力が必要不可欠といっても過言ではない。
A 市長 成田空港は、昭和53年開港以来、飛躍的な伸びを示し、発着回数

界に近づいており、平行滑走路が供用開始後は、年間22万回が可能となります。また、羽田空港は、航空需要の増加から発着能力が限界であり、発着容量の制約によるボトルネック（障害）の解消が急務となっている。このような状況を踏まえ、首都圏空港のあり方として、「成田は国際線の基幹空港、羽田は国内線の基幹空港」という方針が守られる必要がある。しかしながら、国

Q 完全民営化に向けた課題について
A 市長 山武市として一番重要な点が、騒音を

含む環境対策や地域共生策が継続されていくかが問題であり、この課題を解決するには、国・県・周辺市町村、地域住民の十分な話し合い、相互理解の中で協力

体制をとっていくことが肝要であり、周辺自治体は一致団結して事を進めていきたいと思う。

Q 市として、共生・共栄策をどのように捉えているのか。
A 市長 地域振興として、

松尾横芝インターチェンジ周辺と「はにわ道路」を誘導線とした企業誘致、地場雇用機会の促進や周辺自治体が一体となって、共存・共栄を目的としたイベントに取り組み、九十九里海岸までの観光客の誘致を図るなど、基本的には空港を地域として盛り立てていきたい。

山政研 関連質問

小川 一馬 議員

Q 空港周辺の企業誘致についての具体的な計画等はどうか。
A 市長 成田空港がトラ

ンジット（乗り継ぎ）空港として少しでも観光客を誘致するとともに、空港と地域が一体となり、産業や観光面を中心とした地域

振興策を提案したい。

新政会 代表質問
大塚 重忠 議員

●道路整備について

Q 成東・山武から空港へ向かう道路整備について。成田空港は、長年に

わたり完全化空港を目指し、周辺市町村はもとより国・県も本腰を入れ、多難な歴史を残しながら暫定滑走路の使用を開始し、北延伸を進めております。そういう中、国際線の一部を羽田へとの流れもあり、県を始め

周辺市町村は一致して、成田は国際空港、国際線、日本の表玄関として位置づけ、共存・共栄で活力ある地域づくりに邁進する決議をされております。山武市は空港の南にあり、特に松尾・蓮沼を中心とした全市にわたり騒音区域にあり、その影響を日々受け、騒音のみならず、住民の苦痛は並々ならぬ思いがあると存じます。人・文化・産業・経済・物流と空港は多様で多くの国々から出入りし、そして

将来成田空港はアジアの拠点空港としての役割を担う空港であり、その空港を近くに持ちながら、そのエネルギーを少しでも山武市に吸収しないわけにはいけません。そこで、観光・産業・物流目的で成東・山武を経由し成田空港への道路整備を提案します。山武地区は、平成20年以降に北総中央用水事業が始まる予定で、この事業に管理用道路が整備されますので、一部道路用地等をこの事業に絡めて計画してはどうか。

A 市長 道路の整備は、市民のいろいろな行動に伴いさまざまな地域へのアクセスからしても、観光・産業振興にとっても、山武市が発展するためには、大変重要な施策でございます。山武市の位置的な関係から、成田空港の経済的な恩恵を受けるためには、現在にはわ道路一本ですけれど、山武地区の北総地区を通る道路があれば、効果が出ると思います。松尾地区は、はにわ道があり成田に近く、